

# 知財学習プログラム オンライン 学習会

ハンドブック  
贈呈!

「身近な事例から学ぶ、  
知的財産 50 の Q & A」

難しいとされる知財の問題に対して、直感的なわかりやすさを意識し、明日からでもすぐに実践できるノウハウをぎゅぎゅ詰め込んだ今までにない実用的なハンドブックをつくりました！各学習会最後に出されるアンケートにお送り先をご記入いただいた方にハンドブックを贈呈します。



2022 年

3 月 14 日 (月)

第 1 回 基礎編

身近な事例から学ぶ、知的財産 Q & A

3 月 15 日 (火)

第 2 回 実践編

障害のある人のアート活動にまつわる契約と対価

3 月 17 日 (木)

第 3 回 知財学習総括編

まもってひろげる～知財学習のこれから

各回いずれも 18:00～20:00

知的財産権は、表現をまもりつつ広めていく方法としての基本ルール。遠い世界の話ではなく、私たちの身近な生活にもかかわる大切な問題です。

たんぼの家では、誰もが知的財産を活用できる土壌づくりに取り組み、知財学習推進プロジェクトを展開しています。今年度は、知的財産に関する権利保護の意識をもちつつ、ライセンスビジネスや作品の販売などを自ら展開していくことを後押しするための実用的なハンドブック『身近な事例から学ぶ、知的財産 50 の Q & A』を制作しました。

知的財産や知的財産権について学ぶこと自体は表現の意味を考えたり、自分たちにはどんな財産や権利があるのかを知ることでもあります。今年度事業の成果報告を兼ねて、オンライン学習会を3回開催します。1回だけの参加も可能なので、ぜひ、ご参加ください。

開催方法：オンライン配信

Zoom(第1回)、YouTube(第2回・第3回)

参加費：無料

対象：創作活動をしている障害のある人や支援者、福祉施設職員、アートやデザインを学ぶ学生や未来のクリエイターなど、知的財産、知的財産権に興味のある人

主催：文化庁、一般財団法人たんぼの家

お申込み：お申し込みフォームに必要事項をご記入のうえ送信してください。



参加するセミナー開催日の前日までにお申し込みください。お知らせいただいたメールアドレス宛に、ご視聴 URL を送信いたします。もし開催日当日になってもメールが届かない場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問い合わせ：一般財団法人たんぼの家

知財学習推進プロジェクト事務局

Tel: 0742-43-7055

Fax: 0742-49-5501

E-mail: chizai@popo.or.jp

chizai.goodjobcenter.com/

\*本イベントは、文化庁委託事業「令和3年度 障害者等による文化芸術活動推進事業（文化芸術による共生社会の推進を含む）『障害者アートの権利保護と作品販売等に関するハンドブックの制作』」により実施いたします。



## 第1回

3月14日(月) 18:00~20:00

### 基礎編：身近な事例から学ぶ、知的財産Q&A

登壇：池永健介（工房まる 主任）

北村（門田）英之（一般財団法人たんぼぼの家プロジェクトスタッフ）

概要：工房まるで作品展やイベント、グッズ企画を担当する池永さんと一緒に表現と知財について考えます。AIPE 認定知的財産アナリスト（コンテンツ）、北村によるできたてのハンドブックを活用した知財の基礎知識ミニレクチャー付き！

進行：後安美紀（一般財団法人たんぼぼの家スタッフ）

## 第2回

3月15日(火) 18:00~20:00

### 実践編：障害のある人のアート活動にまつわる契約と対価

登壇：石丸徹郎（株式会社フォーオールプロダクト（ミナトマチファクトリー）代表取締役）

大山真司（NPO 法人 Lanka 代表）

大澤辰男（障がい者生活介護事業所アトリエライブハウス・美術教室ライブハウス 代表／現代美術作家）

中塚翔子（エイブルアート・カンパニー東京事務局スタッフ）

概要：アート活動をしていくと必ず出てくるのが、契約と対価の問題です。施設と障害のあるアーティストとのあいだで行っているユニークな契約やお金の分配事例を石丸さんと大山さんから、施設の外側にあるギャラリーや企業等とやりとりするとき気をつけるべきことを大澤さんと中塚さんからお聞きします。

進行：森下静香（Good Job! センター香芝 センター長）

3月17日(木) 18:00~20:00

## 第3回

### 知財学習総括編：まもってひろげる～知財学習のこれから

挨拶：川村 匡（文化庁地域文化創生本部 総括・政策研究グループリーダー）

登壇：久保田 裕（一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会（ACCS）専務理事）

塩瀬隆之（京都大学総合博物館准教授）

高島雄一郎（弁護士／登大路総合法律事務所）

柴崎由美子（NPO 法人エイブル・アート・ジャパン 代表 / エイブルアート・カンパニー東北事務局）

白石晃一（ファブラボ北加賀谷 共同設立者／美術家／京都芸術大学情報デザイン学科准教授）

岡部太郎、大井卓也、後安美紀（一般財団法人たんぼぼの家）

概要：時代がどんどん変化していくなかで、どんなふうに関知財について学んでいけばいいのでしょうか。今年度ハンドブック制作の検討委員をさせていただいたみなさんと、コンピュータソフトウェアやデジタルコンテンツの著作権保護、情報モラルについての専門家である久保田さんと話しあいます。